

㊦佐藤工業株式会社の取組み ①

「人と自然、地域と共に。」

- ◆ 佐藤工業株式会社では、環境課題へ取り組むプロジェクトとして、「**佐藤工業20-30プロジェクト 環境ワーキンググループ**」を発足し、活動中。
- ◆ グループで検討した内容の一部を水平展開し、社内全土での環境活動を実施中。
- ◆ 昨年の軽油燃焼促進剤に続き、バイオ燃料（B5軽油）の試験運用を実施。



共通項目

環境ボランティアへの参加



福島市清水地区で2022年度より「佐藤工業スポGOMI大会」を毎年開催しています。収集ゴミ量は年々増加しており、地域への貢献が着実に進んでいます。



2025年春_日本大学土木工学科主催の徳定川・古川池の清掃活動へ参加してきました。清掃後は在校生との懇親会もあり、交流活動も行いました。

廃棄物表示の統一化



産業廃棄物 専用表示板を作成



啓蒙用ポスターを掲示



収集容器及び表示ステッカーの更新

本支店及び作業所での一般・産業廃棄物の表示方法が統一されておらず、収集容器及び表示板ステッカーを新たに作成し統一化を図りました。また、SDGs・3R促進ポスターも作成・掲示を行い啓蒙活動の実施しました。

全社員が取り組める環境活動の実施



プルタブ収集ボックス 設置・収集状況



使用済切手 収集状況

全社的に可能な環境活動の一環として、社員通用口付近にプルタブ収納ボックスを設け、収集活動を実施中。現在は収集活動の道半ばですが、将来的に集まったプルタブは福祉協議会へと寄付し、最終的には車いすとして寄付される予定です。(約800kg=車いす1台)

同様に郵便物等に貼られた使用済切手の収集も行い、発展途上国の子供たちへ教科書代や助産師学校での授業料として寄付される予定です。

㊦佐藤工業株式会社の取組み ②

「人^人と自然^緑、地域^青と共に。」



産業部門 設備の運用改善や省エネ設備の導入

バイオディーゼル燃料の実用に向けて



バックホウや発電機、ダンプトラック等にバイオディーゼル燃料を試験的に採用しています。この燃料はバイオ燃料5%、軽油95%の軽油代替燃料で成分は軽油に合致しています。従来の軽油と同じ規格を満たしており、運用は軽油と同じになります。

二酸化炭素削減量については従来の軽油に比べ、**約0.13kg-CO₂/L**です。

また、カーボンニュートラルの考え方において、**バイオ燃料5%分の二酸化炭素排出量がカウントされず、合わせて化石燃料の軽油をバイオディーゼル燃料で5%代替することで軽油の消費量を削減でき、その結果地球温暖化防止に貢献**できます。

軽油用燃焼促進剤の活用



軽油、重油を燃料とする建設機械のCO₂削減の為、添加するだけで燃費が向上する添加剤K-S1を一昨年度より継続して実用しています。
燃費の向上や排出ガス中の有害成分を削減し、環境負荷低減に努めています。

各現場での積極的な使用と協力会社への展開も行っております。

再生可能エネルギーの導入・活用



現場の休憩所として、ソーラーハウスを導入しました。この現場では熱中症対策の休憩所として2棟ソーラーハウスを配置し、1つはエアコン・冷蔵庫・ウォーターサーバーを配置、もう1つはエアコン・冷蔵庫・冷凍庫を配置しています。**予備電力として発電機を配置していますが、ほとんど使用することなく太陽光で蓄電した電力で運用しています。**これにより再生可能エネルギーを使用し、二酸化炭素削減に努めています。